

高度環境政策・技術マネジメント 人材養成ユニット

Graduate Course in Strategic Environmental Management
and Sustainable Technology Solutions

教授 石田 秀輝
Professor
Emile H. Ishida



准教授
古川 柳蔵
Associate Professor
Ryuzo Furukawa



研究員
高山 陽子
Researcher
Yoko Takayama



研究員
稲垣 雅一
Researcher
Masakazu Inagaki



SEMSaT (Graduate Course in Strategic Environmental Management and Sustainable Technology Solutions) started in July, 2005 aims at fostering generalists who can manage the environmental strategies and policymaking at private sectors, administrations and NPOs. Students acquire necessary knowledge beyond time and special restrictions through e-learning and more than 5 time-intensive lectures, and also acquire practical knowledge and skills to give solutions through OJT/VPP. At present, 54 domestic and overseas lecturers are in charge. Up to now, 29 master course students and 9 doctor course students are enrolled and in September this year, the first term 9 students acquired the masters degree. And PO (Program Officer) acknowledgment was given to one(1) student who particularly had high level of practical ability. Curriculums are always renewed through the domestic and overseas environmental trend research and the information from the regular lectures of the SEMSaT.

概要

本ユニットは平成 17 年 10 月より開講した経営戦略の策定、環境政策・施策の立案などに関し、俯瞰的視野を有し、指導的な役割を果たす即実践型環境人材養成を目的とした、修士課程及び博士課程のコースである（平成 17 年度採択科学技術振興調整費新興分野人材養成プログラム）。平成 19 年 9 月には 2 年間の厳しいトレーニングを経て、修士課程 1 期生 9 名が修了した。その中で高度な実践力を有する環境プログラムオフィサー（環境 PO）として 1 名を認定した。現在は主に社会人を中心とした修士課程 19 名、博士課程 10 名が在籍している。



<ナチュラルテクノロジー学>グンター・パウリ先生と

教育方法

本ユニットでは e ラーニングと年間 5 回程度の集中講義により時間的、空間的制約を排除した上で必要な知識を習得し、OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）/VPP（バーチャル・パイロット・プロジェクト）トレーニングにより実践的ソリューション提案スキルを磨いている。修了生が実施した VPP の成果はユニットのホームページより公開されている（<http://www.semsat.jp>）。環境科学研究科主催の第 5 回環境技術シンポジウムで成果の一部を修了生が講演し、大きな反響も頂いた。

国内外の動向

平成 19 年 1 月～3 月にかけて、スウェーデン・ルンド大学、スウェーデン・ブレッキング工科大学、ドイツ・ブッパター研究所、WWF Sweden、中国・北京科技大学、清華大学を訪問し、これらの国で求められる人材像、環境教育の実態調査を行った。特に欧州では本ユニットと類似した環境分野のリーダー養成コースが注目されており、俯瞰的視点に立った環境教育は世界のニーズのようである。一方、米国ではサイエンス人材にマネジメント力を付与する PSM（Professional Science Master）という実践型人材の学位が国家戦略の一部として普及を開始しているように、世界的傾向として高度な実践力を有する人材養成が望まれ、本格化していると言える。サステナブルな社会、サステナブル・テクノロジーに関して学外の新しい視点を取り入れる

ため、トルビヨン・ラーティ氏（都市計画家・エコノミスト。持続可能なスウェーデン協会会長）、レーナ・リンダル氏（持続可能なスウェーデン協会日本代表）をゲストとして「個々の力を活かす持続可能な社会」をテーマに第 2 回 SEMSaT セミナーを開催、ユニバーサルデザイン総合研究所所長赤池学氏をゲストとした「サステナブル・テクノロジーを考える」をテーマに第 3 回 SEMSaT セミナーを開催し、セミナー参加者からの好評を得た。また、第 2 回 SEMSaT ワークショップを開催し、企業の教育ニーズやサステナビリティに関する概念の体系化の検討を開始し、来年度は新規短期コースを開設予定である。



サステナブル・マーケティング論



グローバル・サステナビリティ概論学習風景

カリキュラム改善

これらの海外調査結果及び国内調査結果を踏まえて、本ユニットではサステナブルソリューション科目を中心にカリキュラムの改定を行った。また、この人材養成の手法は世界的にも試行錯誤の段階にあるが、我々は独自に構築した OJT/VPP 指導方法をさらに具体化すると共に、ソリューション立案スキル養成に特化した人材養成カリキュラムの更新を続けている。本年度修士 1 期生が修了したが、アンケート結果によると、ユニットの講義及び教育システムについては高い評価であった。今後修了生の活躍が期待されるが定常的な修了生のブラッシュアップのため修了生全体のネットワークづくりを検討している。



Activities in 2007
<サステナブルビジネスモデル学>エッツィオ・マンツィーニ先生と

- 2nd SEMSaT Seminar, Sweden Embassy, Jan24th, 2007
- 3rd SEMSaT Seminar, Tokyo Metropolitan Teien Art Museum, July 23rd, 2007
- 2nd SEMSaT workshop, Naruko/Tohoku Univ, Oct24-25th, 2007
- ISETS07 International Conference, Nov23rd, 2007
- 5th Environmental technology Symposium, Dec 1st, 2007
- 21st Century Environment, Economy and civilization conference, Kyoto, Dec 15-16, 2007
- Destination 2007-2025 international conference, Dec21-23, 2007